

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	省エネやリサイクルの活動について社内で定着してきており、小幅削減となっている。 今後は現在の活動を継続しつつ、新たな取組みや活動を模索中。
第19-0005号 ㈱横浜製作所	インフラ料金や物価の高騰などにより節電・節約意識が高まり、令和6年度もリサイクル化と節電を考える取組みを積極的に行っています。 また、コピー機・パソコンなどの事務機器を買い替えたことにより、コストはかかりましたが、コピー機の旧タイプが消費電力23kWhに対して新タイプは0.32kWhと1時間当たり22.68kWhの節電になります。 今年度も引き続き環境負荷の低減を目指し活動してまいります。
第19-0008号 ㈱ラテン大和	現在取り組んでいる項目の結果がまだまだ満足のいく数値にならず、全社で話し合っていて進めています。新たな目標も追加したいのですが、そこまで到達できていません。 諦めず、引き続き環境負荷を低減するために努力して参ります。
第20-0002号 ㈱メイコー	昨年度は、大幅な受注減少を受けまして、生産量が大きく起因する原単位による環境目標管理が非常に難しい年となりました。 用水に関しては、生産量が減少したとはいえ、品質保持の観点からも削減することが難しく、生産量と対比した場合は増加する傾向となりました。 今年度は下半期より、受注増加の傾向にあるとの営業予測になっておりますので、運用が効率化され、用水使用量に関しても削減される見込みです。
第20-0004号 ㈱ネエチア	再生紙の使用や自動車の購入・選択にあたっての環境への配慮に関する取組みは、環境保全や資源の有効活用、企業の社会的責任において重要課題です。 今後も、社員一丸となって、引き続き出来ることから取り組んでいきたいと思っております。 両面印刷や余白削減などのペーパーレス対策と組み合わせ使用料も削減する。 また、低公害車の導入はリース時に順次入替を実施していきます。
第20-0005号 ㈱青柳商店	環境に意識して、出来ることを取り組むように努めることが出来たと思っております。
第20-0007号 ㈱栄和産業	昨年度も会社全体でペーパーレスの意識づけを行い定期的に配布していた広報誌等をSNSを通じて社員へ共有するなど着実に紙の使用枚数が減ったと思っております。 社員全体で取り組むことで同じ意識を持ち仕事に取り組むことが出来たので今年度もペーパーレスやゴミの削減など積極的に取り組んでいきたいと思っております。
第20-0008号 ㈱タズミ	令和6年度も、弊社の事業の特徴でもあるRPF化を推進し、本来焼却場で燃やされる廃棄物を石炭の代わりになる燃料として生産・販売を行いました。 令和6年度はRPFの出荷量の目標を昨年度より1,000トン増の14,000トンを目指し、何とか目標達成することが出来ました。 また設備に関しては今まで軽油で動いていたフォークリフトを電気で動くバッテリー式のフォークリフトに入れ替え、環境負荷の少ない設備へ切り替えを行っております。 令和7年度はRPFの出荷量15,000トンの目標、継続して設備の切り替えを行い、環境に配慮した運営に取り組みます。

<p>第22-0001号 ㈱紺野企業</p>	<p>会社全体で一人ひとりが意識して取り組むことができました。 紙の資源化を徹底しており、紙を分別し、裏紙として使えるものは再利用しています。 今後更なる環境の改善に努めて参ります。</p>
<p>第22-0002号 横浜乳業㈱</p>	<p>新型の機器導入等により電力の削減に尽力しましたが、製造量は昨年から101.5%増加した影響もあり、電気・水の使用量は微増という結果になってしまいました。 廃棄物に関して昨年に引き続き焼却灰の再焼却に加えて、ゴミ分別を分かりやすくするよう工夫し、排出状況を毎月確認しております。その結果、廃棄物の資源化率は99.6%と昨年度よりもさらに向上しております。 乾燥紅茶粕を再使用する取り組みも運用テストを行っており、今後も更なる資源化を進めてまいります。</p>
<p>第22-0003号 ㈱川崎製作所</p>	<p>社内の資源エネルギーの節約意識の向上につながっている。</p>
<p>第24-0001号 トピー工業㈱綾瀬製造所</p>	<p>取組目標のほか。環境月間に環境朝礼の実施、ECO検定取得の推奨など社員一人ひとりが環境意識を持って行動できるような取り組みも行いました。 定めた目標に加えて、「まずできることから始める」という姿勢を大切に、各工場・事務所ごとに定期的なチーム会議を実施しながら改善活動を進めています。 今後も引き続き、社員全体の環境意識の醸成とともに、環境負荷のさらなる低減と環境保全に取り組んでまいります。</p>
<p>第24-0005号 ㈱中電社</p>	<p>環境負荷の低減に向け、建設現場で発生した廃棄物の資源化率向上に取り組み、8年間継続しています。 今後も資源循環、有効利用を推進してまいります。</p>
<p>第24-0006号 ㈱かなしんオフセット</p>	<p>各部署で環境負荷の低減を行い、前年度と比較して紙の購入枚数と電気の使用量の削減を目標とした。 そして紙の購入枚数、電気使用量ともに削減することができた。</p>
<p>第26-0004号 大平食品加工㈱</p>	<p>取組結果は数値化し、継続していくことで、前年比など具体的な成果の可視化を取り入れていきたいと考えます。 今後は、地球温暖化防止対策について、関連する取り組みを強化していきたいと思えます。</p>
<p>第26-0007号 ㈱アサヒコ神奈川工場</p>	<p>個々の意識を高め積極的にエネルギー・コスト削減を継続していく。 製造過程で発生するごみのリサイクルを推進した。 照明設備の適正化の継続。</p>
<p>第26-0008号 東ソー㈱東京研究センター</p>	<p>従来より、廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理や、省エネ機器の導入を進めるなど、環境負荷低減に努めております。 令和6年度は、センター内照明器具のLED化を完了し、省エネルギー型空調設備の導入や太陽光発電設備の稼働などによりCO<sub>2</sub>排出量の削減に努め、エネルギー原単位は約0.7%減少、電気使用量は0.3%減少、CO<sub>2</sub>排出量としては約5.1%減となりました。 今後も継続して、環境に配慮した取り組みをより一層努めていきます。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学㈱</p>	<p>従来より取り組んできた内容でしたが改めて環境への配慮を確認することができました。 今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>

<p>第26-0010号 東急リネンサプライ 株相模工場</p>	<p>社員全員が常に環境意識及び5Sを持って取り組むことができました。 コロナ禍においても昨年末からホテルの稼働が高くなったままで忙しくなりましたが取り組みました。 従業員が減り、シェアフル等バイト多用により生産性が低下し、電気、ガス使用量が増えてしまった。 今後も環境負荷低減、環境の向上に努めていきます。</p>
<p>第33-0001号 株藤井工務店</p>	<p>当社は令和3年9月に登録を行い環境負担を低減させるための取り組みを実施している。少しずつだが社員の環境への意識も変わってきていると思う。</p>
<p>第36-0001号 株オオカワラ</p>	<p>去年事業者登録をさせていただきました。 改めて環境について考える機会になり、社員ひとりひとり省エネなどを意識するようになりました。</p>
<p>第36-0002号 株ファインテック</p>	<p>あやせエコっと21を取得して一年目が終了した。 分別について調べたり工夫を凝らしたりと、従業員の意識が高まったと感じている。</p>
<p>第36-0003号 株アール・ティー</p>	<p>第二工場の水道料金が大幅に縮小できたのは良かった。 自転車の活用が進んだが、まだ一部社用車での移動があり、更に定着し効果が出るようにしたい。 アイドリングストップは、いまひとつである。 節電のための、スイッチのON・OFFは定着している。</p>
<p>第36-0004号 株ベレイマージ</p>	<p>これまでも弊社では地球環境保全を意識した廃棄物排出抑制に取り組んできたが、昨夏の「あやせエコっと21」への登録を機に更に意識を高めて対応強化し、6つの取組みの目標達成に向けて注力した。 特に新たな取組みであるアップサイクル・トートバッグの製造については、廃材を利用した唯一無二のオリジナルバッグ販売拡充のため、企画・製造・販売に至るまでチーム一丸となり、廃棄量減少に努めている。 また従来から取り組んでいるトナーカートリッジ・使用済み電池・段ボールについては回収率100%を実現しており、継続し取り組むことで、微力ながら環境負荷の低減に貢献していきたい。</p>

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	裏紙使用は習慣化出来た。メールやサーバーを使用したペーパーレス化を促進する。
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレトペーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率：100 %
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	電気使用量削減に向けて休み時間の消灯やエアコン設定温度の適正化、待機電力の抑止を実施した。
第19-0005号 ㈱横浜製作所	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙・プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	大変よくできた。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	食べ残しや食品の残りは可能な限りコンポスト化して利用する。	大変よくできた。
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレトペーパー等に再生紙を使用する。	大変よくできた。
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	大変よくできた。
第19-0008号 ㈱ラテン大和	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	紙購入における削減枚数 昨年度比 20,000枚減（クラウド上での保存、発注をメール・ラインで行う、使用した用紙の裏面再使用）
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスの適正な配置やメーカー回収による1リサイクルを進める。	事業系廃棄物の資源化率：90%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用量を抑制する。	コピー用紙や印刷物、トイレトペーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率：100 %
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	エコマーク商品等、環境負荷の少ない製品を優先的に購入する。	物品購入におけるエコマーク等商品の購入率：75%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択にあたって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃料基準達成車への代替を進める。	低公害車の導入 ②割合：50%
第20-0002号 ㈱メイコー	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	プラスチック類等の選別精度を向上し、原料としてリサイクル可能な品目を拡大することで廃棄物の削減を進める。	廃プラ排出量削減率前年度比 前年度比：-22.2%削減（原単位比）
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	生産工程で発生する廃棄物のリサイクルを推進する。	再資源化率：96.0%
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	工場内用水使用量を把握することで、使用量を適正化する。	全用水量削減率 前年度比：+8.9%（原単位比）
第20-0004号 ㈱ネエチア	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレトペーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率：65%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択にあたって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃料基準達成車への代替を進める。	低公害車の導入：3台
第20-0005号 ㈱青柳商店	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	昨年度比1500枚の削減。 積極的に裏紙を活用。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	事業系廃棄物の資源化率75%
	地球温暖化防止対策等	自動車の適正使用及び抑制、又は低公害化する。	ガソリン等の使用量を把握し、削減する。	ガソリン使用における削減量、昨年度比5660減
第20-0007号 ㈱栄和産業	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	データで配布することで紛失を防ぐことも出来、印刷の手間や紙の使用を抑えることができました。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物等に再生紙を使用する。	片面印刷されているものを再利用することで紙の使用量が格段に減りペーパーの購入頻度を抑えることが出来ました。
	地球温暖化防止対策等	冷暖房設備等を適正管理する。	冷暖房の温度設定を見直し、無駄なエネルギー使用を削減する。	温度を一定にしたり、空調に頼りすぎず服装の工夫やブラインドの使用等個人での工夫も社内全体で取り組むことができました。
第20-0008号 ㈱タズミ	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	契約書などの電子化への取り組み	お客様から依頼のあった契約書などの電子化への要望があれば相手のシステムに対応しています。
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	グリーン購入法に基づいた再生紙を使用する。	コピー用紙はグリーン購入法に基づいた物品を購入・使用することが出来ました。
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	会社で必要となる物品はグリーン購入法に適した物品を購入する。	令和6年度のグリーン購入率は54%となり、環境に配慮した物品を購入することが出来ました。
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択にあたって環境に配慮する。	随時環境に配慮した車両・重機などに切り替えを推進する。	社用車は2014年に購入した車両(25万キロ走行)を新しいハイブリッド車に切り替えを行いました。またフォークリフトを1台をバッテリー式フォークリフトに切り替えを行いました。
	大気汚染、水質汚濁等の防止、化学物質対策等	悪臭、騒音、振動等の防止対策を講じる。	環境測定を各事業所ごとに行いクレームにならないよう測定を行った。	臭気に関しては業者に依頼し、騒音・振動に関しては機械を借りて自主的に環境測定を行うことが出来た。結果についても特に異常は見られなかった。

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第22-0001号 備紺野企業	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	紙購入における削減率：4%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクルを促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池等について、分別回収ボックスを適正に配置する等、ごみの分別とリサイクルを進める。	事業系廃棄物の資源化率：100%
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	節電、事務・工場にて不要な電気使用を控える。	電気使用量における削減率：7%
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	環境マネジメントシステムを導入する。	エコアクション21
第22-0002号 横浜乳業㈱	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境へ配慮する。	アイドリングストップ等エコドライブを実践する。	みまもりくんの導入により改善。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	埋立行産業廃棄物（焼却灰）の発生抑制。	埋立行産業廃棄物発生量 10kg削減 (23年度発生量210kg⇒24年度発生量200kg) 昨年度比95.2%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクルを促進する。	製造工程で発生するゴミのリサイクル化。	事業系廃棄物の資源化率99.6% (23年度資源化率99.2%)
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	水使用量 20,329㎡増加 (23年度使用量1,081,141㎡⇒24年度使用量1,101,470㎡) 昨年度比101.9%
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	機器更新等、省エネ活動による電気使用量の削減。	電力使用量 626,218kWh増加 ※発電量含む (23年度使用量19,328,064kWh⇒24年度使用量19,954,282kWh) 昨年度比103.2%
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	ボイラー設備の更新、運転制御見直し。	都市ガス使用量 54,129㎡削減 (23年度使用量5,228,731㎡⇒24年度使用量5,174,602㎡) 昨年度比99.0%
第22-0003号 備川崎製作所	地球温暖化防止対策等	エレベーターを適正運転する。	燃料使用量の削減。	LPガス使用量 313.4㎡削減 (23年度使用量 2,548.1㎡⇒24年度使用量 2,861.5㎡) 昨年度比112.3%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	スクラップ材の再利用、材質ごとの分別仕分けの厳格化。	資源のリサイクルに貢献した。
第24-0001号 トビー工業㈱綾瀬製造所	大気汚染、水質汚濁等の防止、化学物質対策等	大気汚染物質排出量を削減する。	大防法に則り、対象設備の維持管理とNox、ばいじん等測定を定期実施。法令基準より厳しい自主管理基準による管理。	基準値オーバーなしを達成。
	大気汚染、水質汚濁等の防止、化学物質対策等	水質汚濁物質排出量を削減する。	水濁法に則り排水測定を定期実施。法令基準より厳しい自主管理基準による管理。	基準値オーバーなしを達成。
	大気汚染、水質汚濁等の防止、化学物質対策等	悪臭、騒音、振動等の防止対策を講じる。	騒音規制法に則り敷地境界線騒音測定を定期実施。	基準値オーバーなしを達成。
	大気汚染、水質汚濁等の防止、化学物質対策等	化学物質の管理を徹底する。	SDSおよび排出量、移動量の管理。	2024年度PRTR法報告の行政届出済である。
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	ISO14001要求事項適合審査（定期審査）。	適合判定を受領した。
	地球温暖化防止対策等	自然エネルギーを活用又は新システム等を導入する。	空調節電・省エネシステムを一部の空調機に導入し室内環境と省エネの両立を狙う。	省エネシステムを設置した空調では平均20%程度の節電(理論上)。
	地球温暖化防止対策等	特定フロンを削減又は温室効果ガスを排出抑制する。	フロン排出抑制法ならびにISO14001社内規程に則り、フロン機器点検の実施から処理時の行程表・破壊証明、保管の管理を行なう。	規程通り実行し、引き続き抜け漏れの無きよう管理の徹底と継続する。
第24-0005号 備中電社	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	ペーパーレス化により紙の購入枚数を削減している。	紙購入における削減枚数。(昨年度比) A3サイズ200枚、A4サイズ300枚
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	生産過程で発生する事業系廃棄物のリサイクルを推進する。	廃棄物の資源化80%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	環境負荷の少ない建築材の使用等を推進する。	木材、コンクリート塊のリサイクルに取り組む。	建設副産物の資源化100%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	エコマーク商品を優先的に購入する。	購入率90%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	トイレトペーパーやコピー用紙等、再生紙を使用している。	再生紙の使用率100%
第24-0006号 備かなしんオフセット	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	紙購入における削減枚数(昨年度比)：3,500枚
	地球温暖化防止対策等	証明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	電気使用における減少量(昨年度比)：94,840kw
第26-0004号 大平食品加工㈱	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用枚数削減の為、裏紙印刷を導入。	メール専用PC及び社内RUNPCに裏紙印刷が出来るように接続。 ⇒前年対比6.25%購入経費 増加(¥7,980-) ※会社全体で裏紙印刷の周知が課題。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明設備のLED化。	2024年度は予算の都合で見送り。 2025年度に2ヶ所実施予定。

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第26-0007号 ㈱アサヒコ神奈川工場	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	製造過程で発生したものを廃棄せずリサイクルを実施。	資源化率約80%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	紙、プラスチック、トナーカートリッジ、電池について分別回収ボックスを配置しリサイクルを進める。	資源化率90%
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明器具を逐次省電力型に交換する。	継続中。
第26-0008号 東ソー㈱東京研究センター	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	太陽光発電設備を活用する。	発電出力：25kw
	地球温暖化防止対策等	省エネ対応製品等を購入又は更新する。	ガスコージェネレーションや燃料電池コージェネレーションを活用する。	省エネ型空調設備への更新。(11台)
	地球温暖化防止対策等	特定フロンを削減又は温室効果ガスを排出抑制する。	業務用機器の冷媒を適正に管理する。	回収したフロン(33件、162.1kg)
第26-0009号 日本蛍光化学㈱	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率：70%
	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	その他環境に配慮した物品等の購入、使用を推進する。	エコマーク商品等、環境負荷の少ない製品を優先的に購入する。	廃棄ホタテ貝殻粉末を使用したごみ袋の購入等。
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	水の使用量：昨年比：92% (昨年を100%とした場合)
	建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮	建設物、構築物の環境への影響を予防するための方策を講じる。	老朽化に関する診断、長寿命化を行う。	耐震補強工事を行い、使用されていたアスベストを適正に処理。
第26-0010号 東急リネンサプライ㈱相模工場	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	コピー用紙の再生紙使用率55%。 トイレットペーパー再生紙使用率100%。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	生産1kg当たり使用電気量(昨年度比)：+6.8%
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	生産1kg当たり使用都市ガス量(昨年度比)：+4.4%
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	太陽光発電設備を活用する。	発電量：58,561kw
第33-0001号 ㈱藤井工務店	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	分別回収ボックスを配置しゴミの分別とリサイクルを進める。	資源化率70%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃費基準達成車への代替を進める。	環境負担の少ない車への代替を行った。
	地球温暖化防止対策等	自然エネルギーを活用又は新システムを導入する。	太陽光発電設備を活用する。	お客様へ再生可能エネルギーなどの設備提案を行い太陽光発電設備を推奨した。
	地球温暖化防止対策等	冷暖房設備等を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し削減する。	排出量50%～60%削減。
第36-0001号 ㈱オオカワラ	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	出荷・販売等に際しての梱包等に配慮する。	出荷用の段ボールは買わずに使用したものを再利用。 廃棄する段ボールはリサイクル業者さんにすべてお願いする。	破棄する段ボールはゼロになり、全てリサイクルに回している。
第36-0002号 ㈱ファインテック	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	この1年間ではリサイクルゴミのより正確な分別に取り組み、中でも紙ゴミの分別に力をいれた。同じ紙ゴミでも膨大な種類があり、何度も分け方のルールを変えたり、ゴミ箱の配置を変えたりと試行錯誤を繰り返した。	ルールは安定してきたが場所を取るようになってしまった今後も工夫をしていきたい。 弊社は元々紙の利用は少なかったが、広告FAXの裏面をメモ用紙として利用するようにした。広告FAXのために場所を取ってしまう葛藤はあったが、慣れるものだった。
第36-0003号 ㈱アル・ティ	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の使用に当たって環境に配慮する。	工場間移動に自転車の活用、アイドリングストップを実践する。	自転車の活用は定着する。 アイドリングストップの定着は50%50%程度。
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	スポット溶接機冷却方法を垂れ流しからチラーユニットによる循環式にして水の使用量を削減する。	第二工場のチラー導入前と比較すると支払い金額で35%程度に減少する。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明設備のLED化及び節電のため、スイッチのこまめな「ON・OFF」を推進する。	LED化は完了し、スイッチの「ON・OFF」は定着した。
	地球温暖化防止対策等	自動車の適正使用及び抑制、又は低公害化する。	製品の荷姿変更による運搬の簡素化、現地組み立て方式で荷姿形状が小型になり、運搬に使用するトラックを4tから2tに切り替えて燃料使用量を抑える。	受注品の状況により、現地組み立てが少なく2t車の使用が2～3割程度に減少した。
第36-0004号 ㈱ベレイマージ	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	ペットボトルキャップの回収ボックスの設置。	ペットボトルキャップ回収率：80%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	トナーカートリッジの廃品リサイクル回収の実施。	リサイクル回収率：100%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクル化を促進する。	使用済み電池の回収ボックス設置。	工場内使用済み電池回収率：100%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	出荷・販売等に際しての梱包等に配慮する。	紙管の再利用(納品先より回収し出荷時に再利用)。	提携事業者間との紙管再利用率：50%～60% (損傷等により再利用不可能な紙管を含む)
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	生産工程におけるリサイクルに取り組む。	アップサイクル・トートバッグの製造。(生産過程で発生する廃材利用によるバッグ製造)	月間平均生産数：10
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	段ボール回収による廃棄物の削減。	段ボール回収率：100%